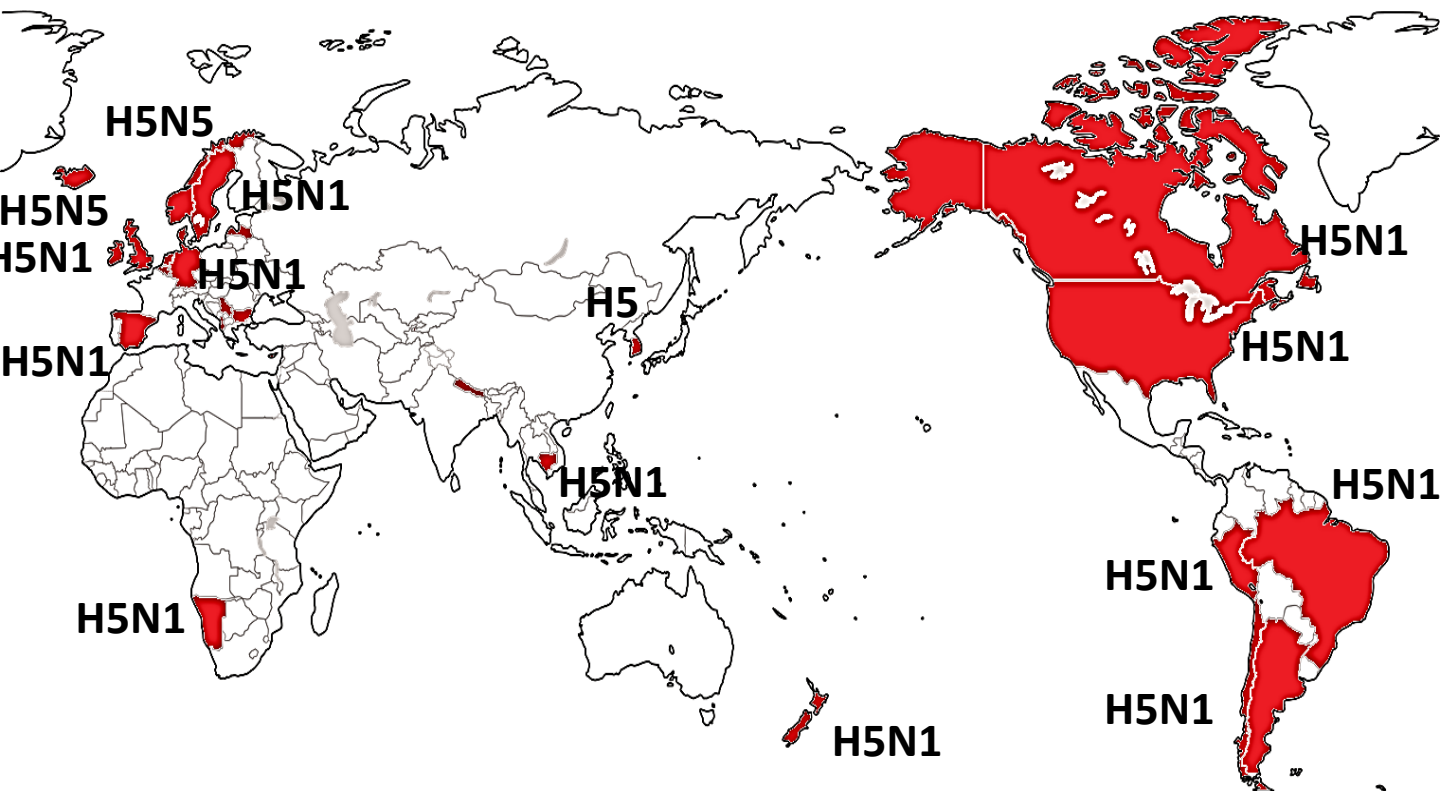


2026年高病原性鳥インフルエンザシーズン到来

韓国で採取された野鳥糞から今シーズン初の高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）が確認されました。

隣国での高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）確認に伴い、日本国内における野鳥サーベイランスの全国対応レベルが1→2に引き上げられます。



2026年10月以降の世界での発生状況

発生地域

- ◆日本国内では9月1日から早期警戒期間と位置づけ、死亡野鳥等調査を対応レベル3として監視強化していましたが、これまで高病原性鳥インフルエンザは確認されていません。
 - ◆隣国での高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）から、今後、渡り鳥の飛来に伴い、ウイルスの浸潤が懸念されます。
 - ・高病原性鳥インフルエンザ予防対策状況を再点検願います。
 - ・今後の情勢に注視し、異常を認めた際は早期通報願います。
- なお、ご不明な点がありましたら以下にお問い合わせください。

京都府丹後家畜保健衛生所（〒629-2302 与謝郡与謝野町字下山田616）

TEL:0772-43-1125/FAX :0772-43-1124/Mail:tango-kaho@pref.kyoto.lg.jp